

～ 豊かな学びの実現 ～

グローバルGAP認証取得のブドウ 台湾へ輸出

丹精の果実台湾に

農産物の生産工程管理に関する国際規格「グローバルGAP」の認証を受け、校内のハウスでブドウを栽培している丹原高校（西条市丹原町願連寺）で26日、台湾での販売実習に向けた出荷作業があった。今年は天候と害虫の影響で、予定していたニューピオーネの出荷は見送ることになったが、生徒20人がシャインマスカット約60キロを丁寧に箱詰めした。

国際認証取得の丹原高

同校はブドウで2018年から台湾で販売実習を始めて8年に認証を受け、同年から台湾で販売実習を始めた。今年も普通科と園芸科の生徒が参加した。



台湾へ輸出するシャインマスカットに緩衝材を入れるなど丁寧に作業する丹原高生

シャインマスカット60キロ 販売実習へ丁寧箱詰め

芸科学科の生徒10人が9月7、8の両日、台中市の高級スーパー「裕毛屋」の店頭で販売する。

今年の栽培は予想外の事態に見舞われた。例年シャインマスカットと一緒に出荷しているニューピオーネは、6月以降の高温の影響で糖度が上がらず、色付きも悪く、出荷は見送ることになった。シャインマスカットは袋がけを早めて害虫や病気の発生を防ぐようにした。梅雨明け以降、安定して成長し、実の大きさや糖度も十分に育ったという。

26日は園芸科果樹科の生徒が午前7時から収穫を開始。台湾で販売する生徒らも合流し、果実の傷や重さを確認しながら梱包（こんぼう）した。

園芸科3年藤澤優衣さん（左）は「外国語でのコミュニケーション能力を培おうと参加した。一手間かけて育てたマスカットのおいしさを言葉や表情でしっかり伝えたい」と話した。

（伊藤義樹）

9月6日～12日の7日間、台湾研修を実施。10名の生徒が参加。台湾の高級スーパー「裕毛屋」で、私たちが、お客様に販売します。

台湾の人、文化、歴史、産業に触れることで、グローバルな感覚、コミュニケーション力、行動力を身に付け、キャリア形成に生かします。